



平成30年度第4回 船橋市行財政改革推進会議

行財政改革の推進に関する アンケート調査について

平成30年12月27日
企画財政部 政策企画課

1. 調査の概要について

<目的>

行財政改革に対する市民の現状認識や市民サービスに対する市民の意見等を把握するため、市民を対象としたアンケート調査を実施。

また、今年度末に策定予定の、「(仮称)行財政改革推進プラン」の検討材料とする。

<調査の設計>

- | | |
|-------|--|
| ①調査対象 | 住民基本台帳から無作為に抽出した市内在住の満18歳以上の男女 |
| ②標本数 | 3,000人 |
| ③抽出方法 | 特定の年齢層の意見に偏らず回答結果に中立性が確保されるよう、年代別の回答結果が本市の年代別人口構成と可能な限り近似するように傾斜をかけて抽出 |
| ④調査方法 | 郵送配布－郵送回収 |
| ⑤実施期間 | 平成30年11月13日～11月29日 |
| ⑥その他 | 船橋市の人口動態や財政状況等を説明したパンフレットを同封 |

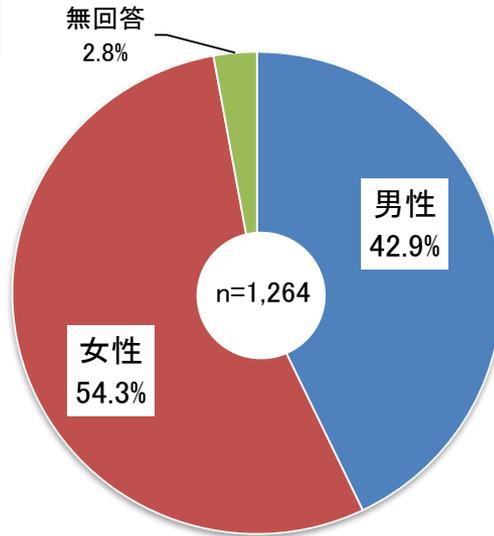
<回収結果>

- | | |
|------|-------|
| ①回収数 | 1,264 |
| ②回収率 | 42.1% |

※次頁以降の結果はすべて百分率で表し、少数点第2位を四捨五入したため、選択肢の比率の合計が100%にならない場合があります。

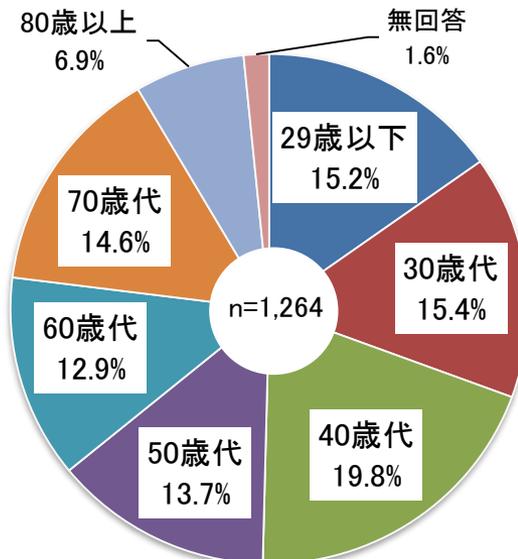
2. 回答者について

I 性別

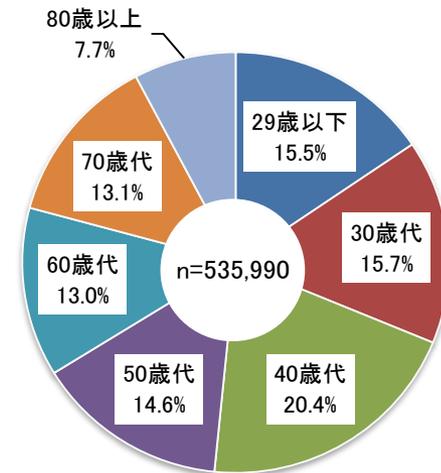


- ◆ 女性の回答率が、男性より11.4%高い。
- ◆ 年齢別の回答者割合は、本市の年齢別人口構成と概ね一致した。

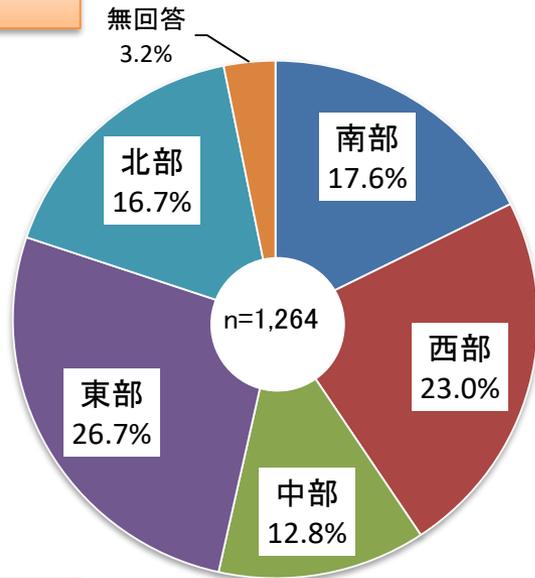
II 年齢別



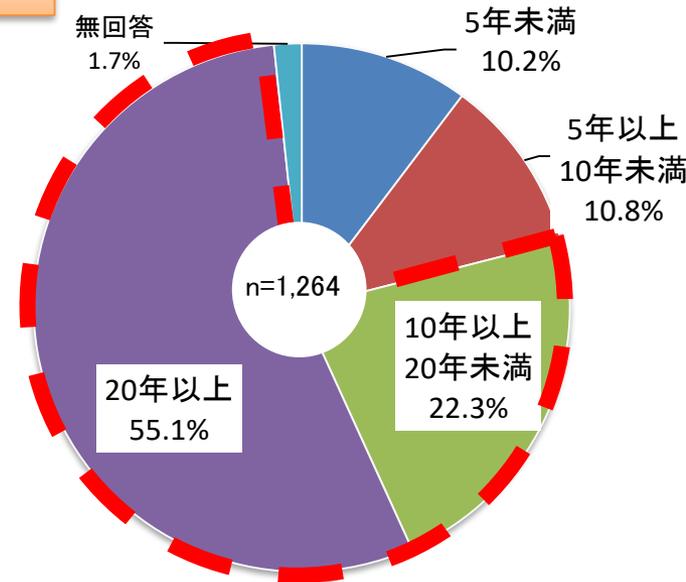
【参考】本市の年齢別人口構成



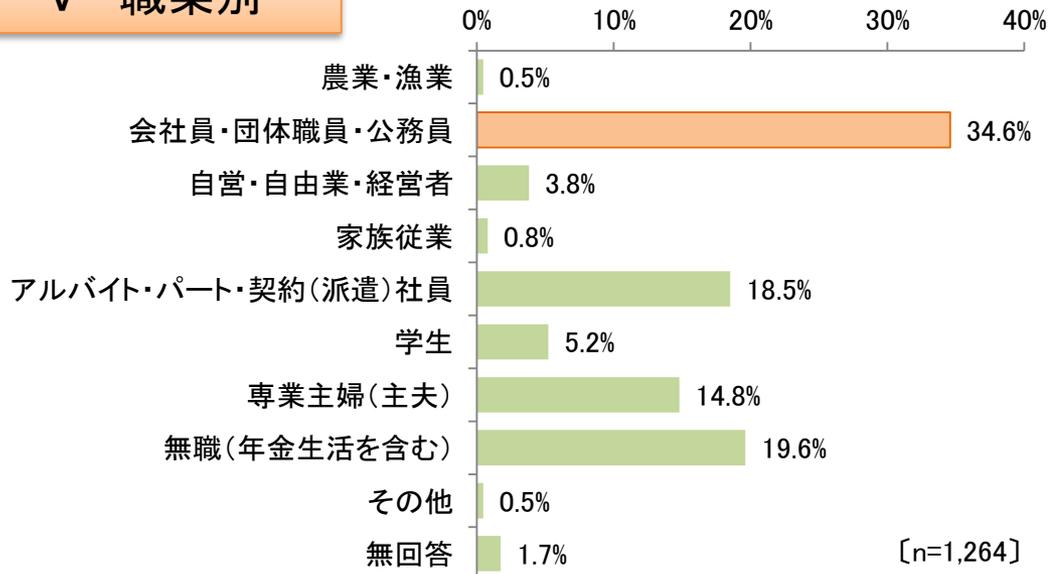
Ⅲ 地域別



Ⅳ 居住年数別



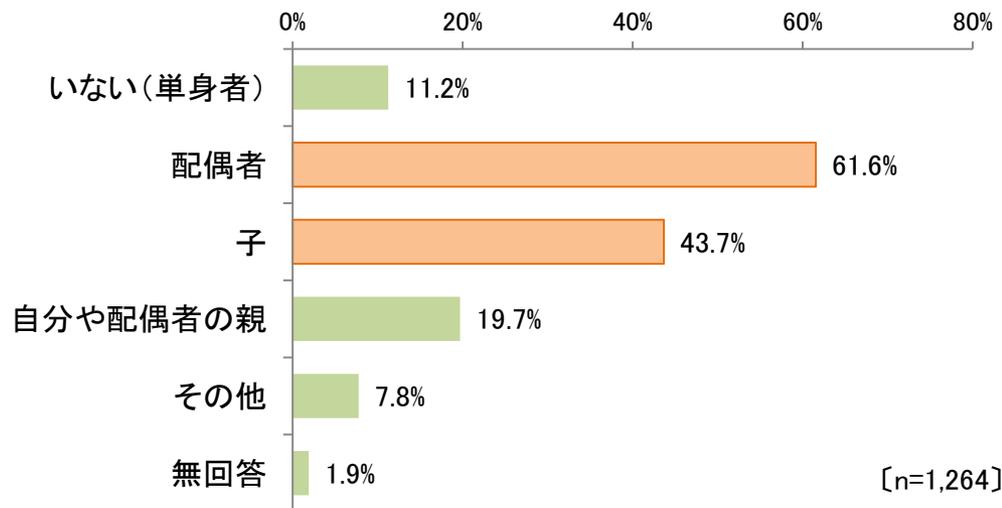
Ⅴ 職業別



◆ 船橋市に10年以上住んでいる人が約80%を占めた。

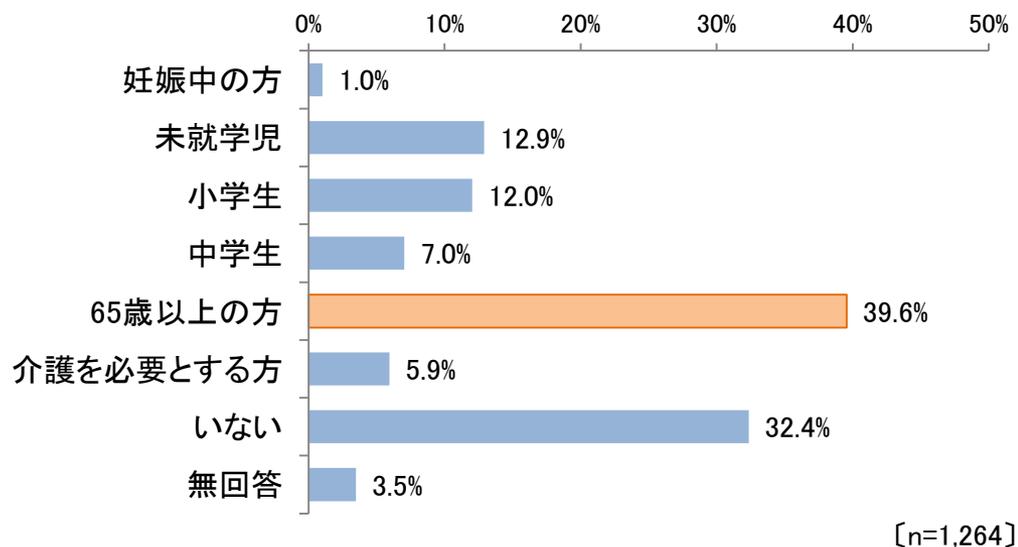
◆ 職業別では、会社員・団体職員・公務員が3分の1を占めた。

VI 同居人の状況



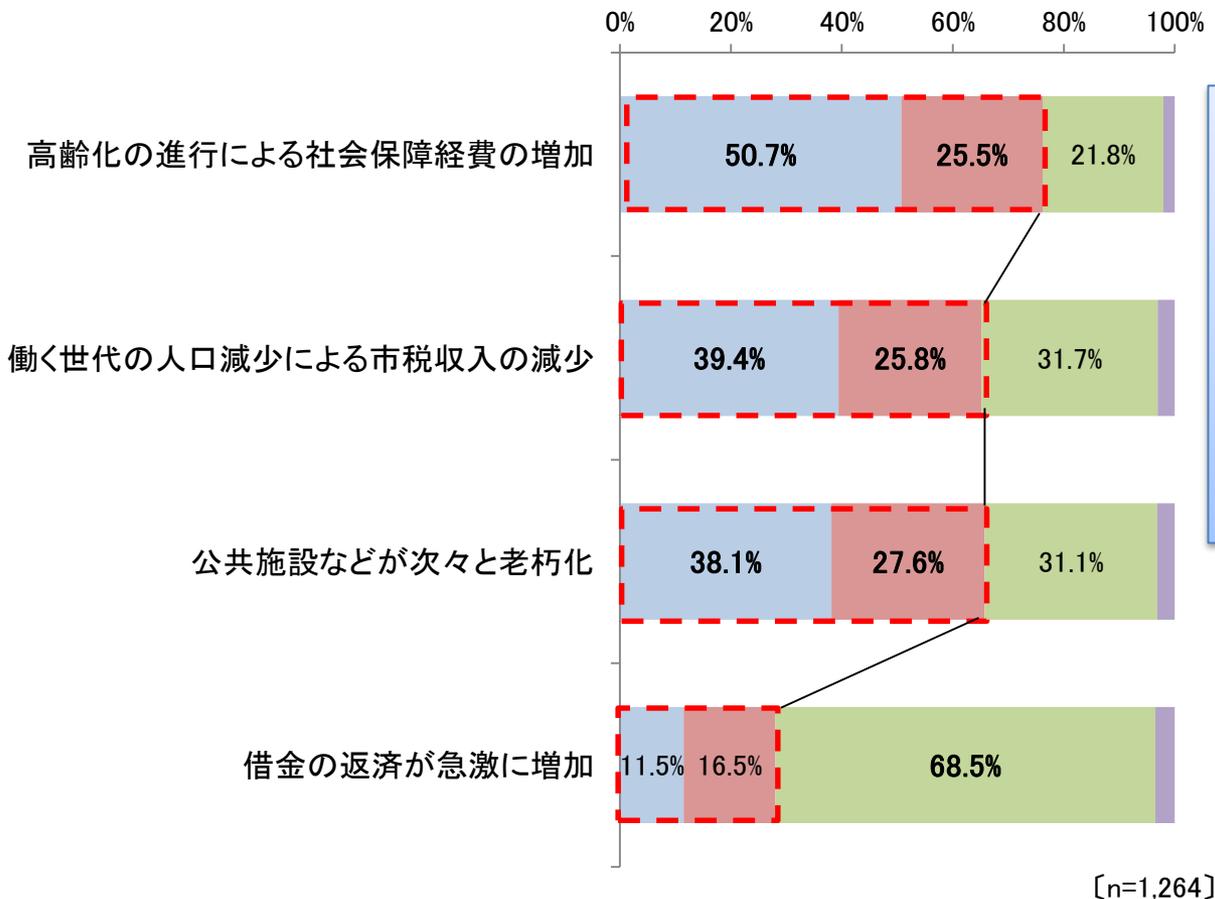
◆ 同居人別では、単身世帯以外が大多数を占めた。

◆ また、回答者本人もしくは同居人の中に65歳以上の方が約4割を占めた。



3. 調査結果について —今後の船橋市の課題—

問1 あなたは、「今後の船橋市の課題」について知っていましたか。(単一回答)

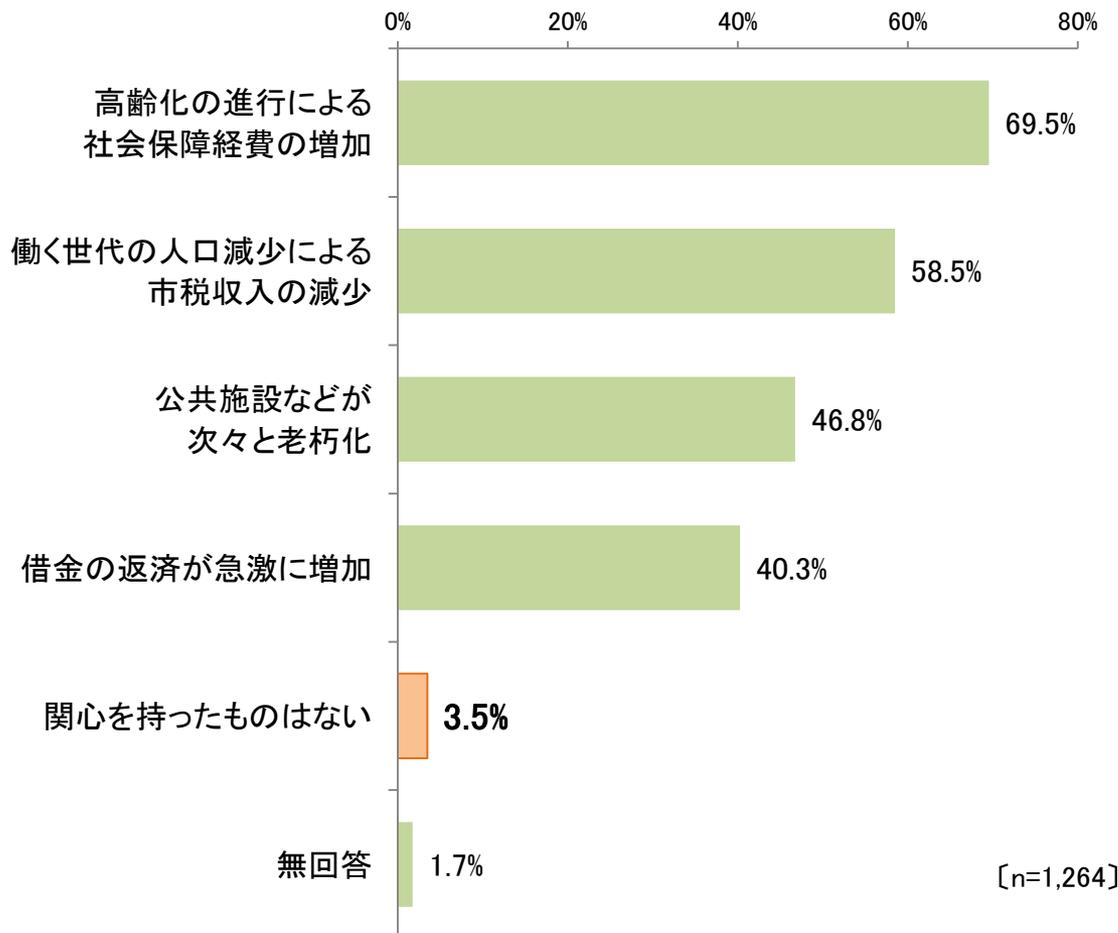


◆ 高齢化の進行や働く世代の減少など、人口動態の変化に伴う影響の認知度は高い。

◆ 一方で、公債費の増加に関する認知度は低い。

■ 知っていた ■ 聞いたことがある ■ 知らなかった ■ 無回答

問2 「今後の船橋市の課題」について、あなたが関心をお持ちになったものは、次のうちどれですか。(複数回答)

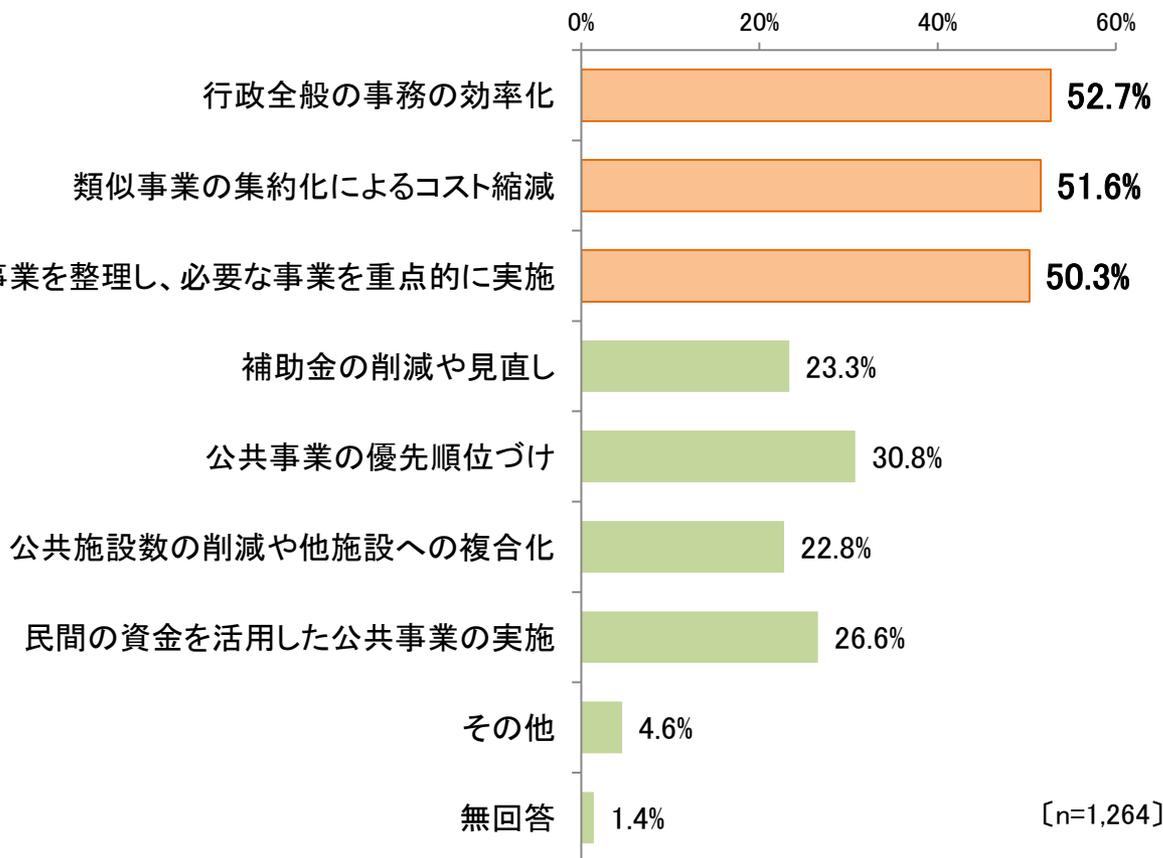


◆ 「関心を持ったものはない」と回答した人は3.5%に留まった。

◆ 特に、高齢化の進行や働く世代の減少など、人口動態の変化に伴う影響への関心度が高い。

3. 調査結果について —市が見直すべきこと—

問3 船橋市が支出を節減・抑制する上で、あなたが重点的に取り組む必要があると思うものは、次のうちどれですか。(複数回答)

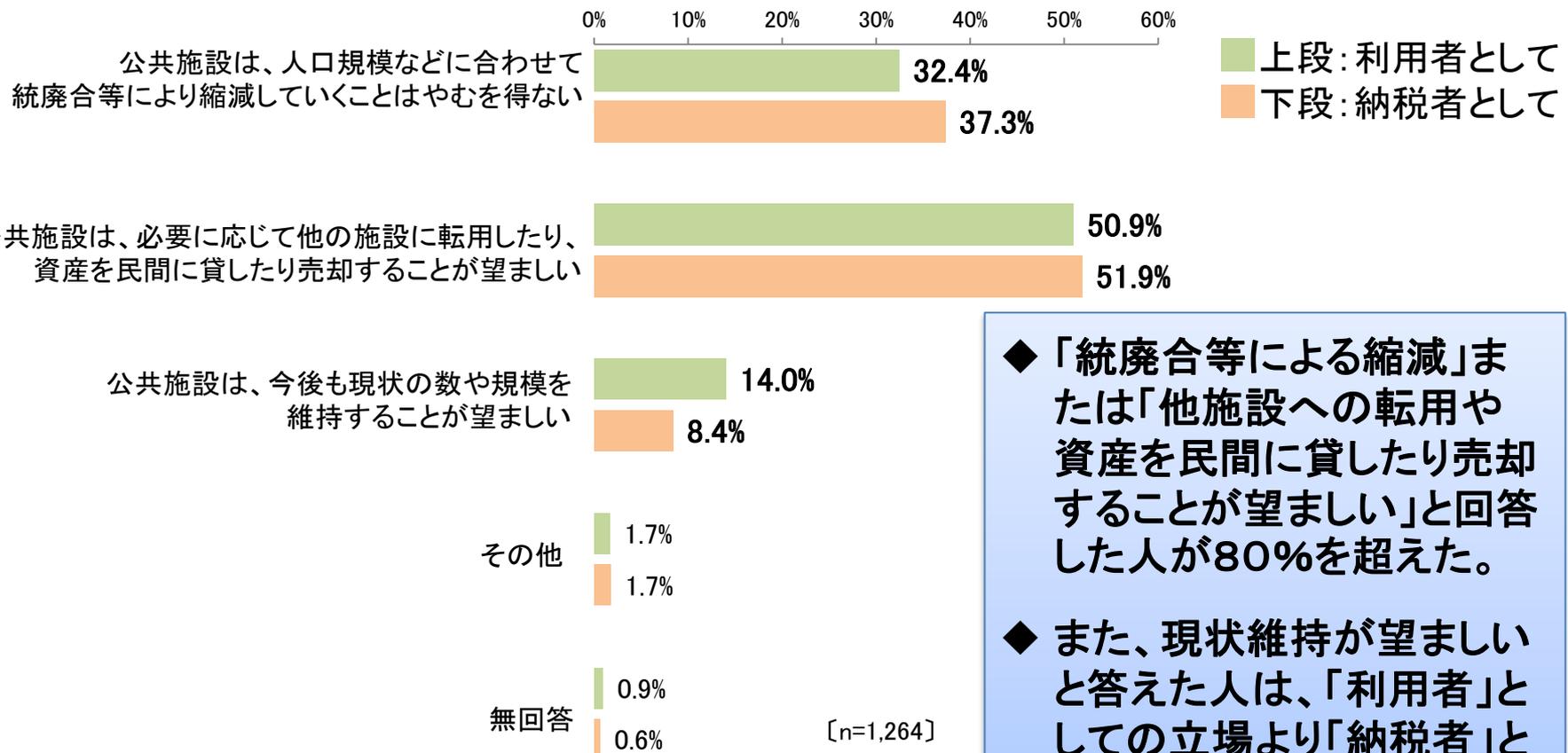


トップ3は…

- ◆ 行政全般の事務の効率化
- ◆ 類似事業の集約化によるコスト縮減
- ◆ 事業を整理し、必要な事業を重点的に実施

3. 調査結果について —公共施設のあり方—

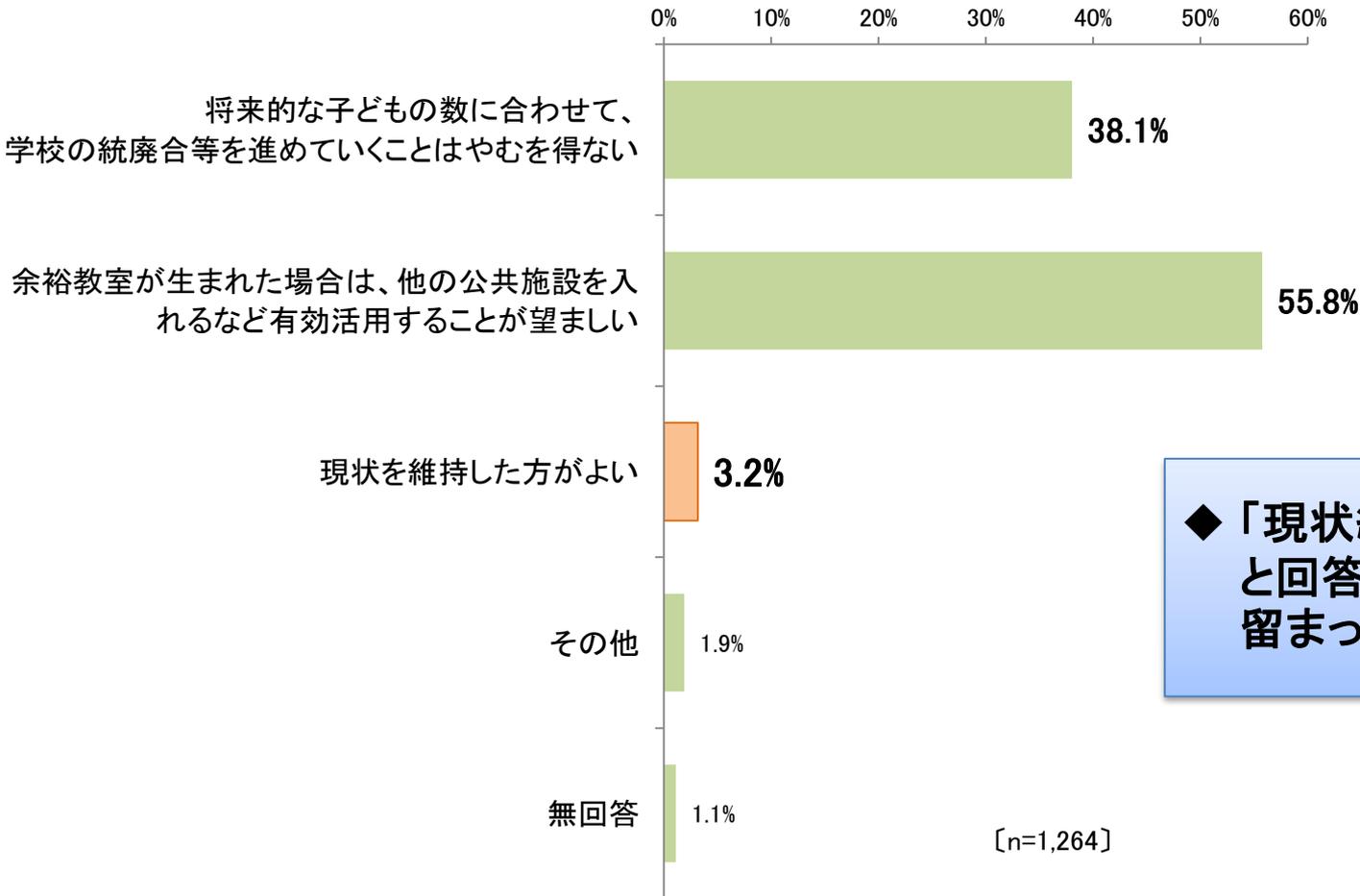
問4、5 今後の公共施設のあり方について、「利用者として(問4)」または「納税者として(問5)」のあなたの考えに最も近いものは、次のうちどれですか。(単一回答)



◆ 「統廃合等による縮減」または「他施設への転用や資産を民間に貸したり売却することが望ましい」と回答した人が80%を超えた。

◆ また、現状維持が望ましいと答えた人は、「利用者」としての立場より「納税者」としての立場の方が5.6%低い。

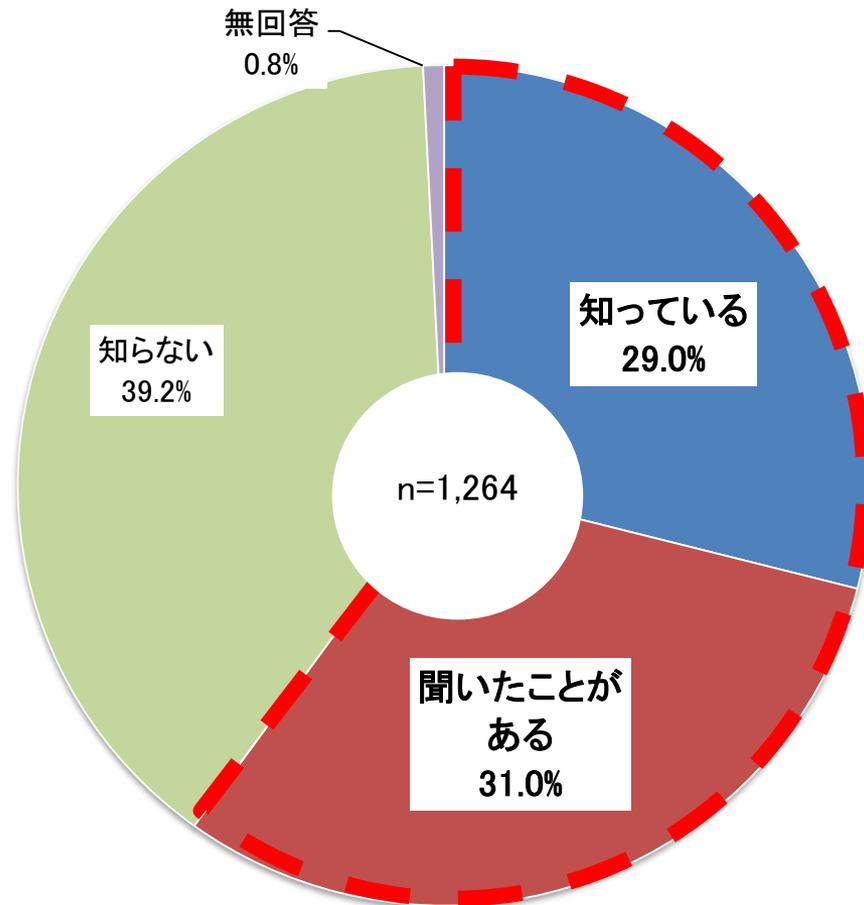
問6 今後の学校のあり方について、あなたの考えに最も近いものは、次のうちどれですか。(単一回答)



◆「現状維持した方がよい」と回答した人は、3.2%に留まった。

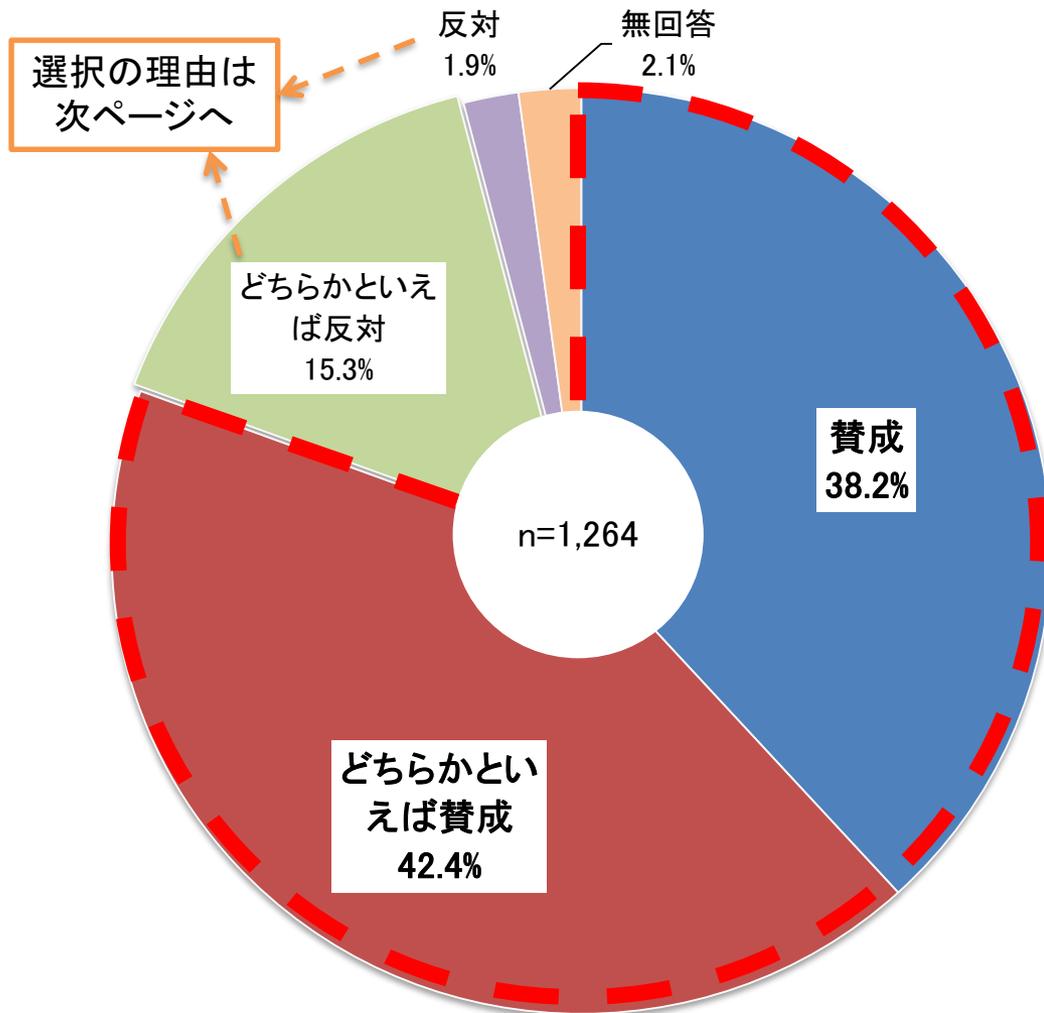
3. 調査結果について —民間活力の導入—

問7 近年、行政機関の窓口業務や公共施設の管理運営などに民間事業者の力を借りる動きが増えています。あなたは、この動きを知っていますか。(単一回答)



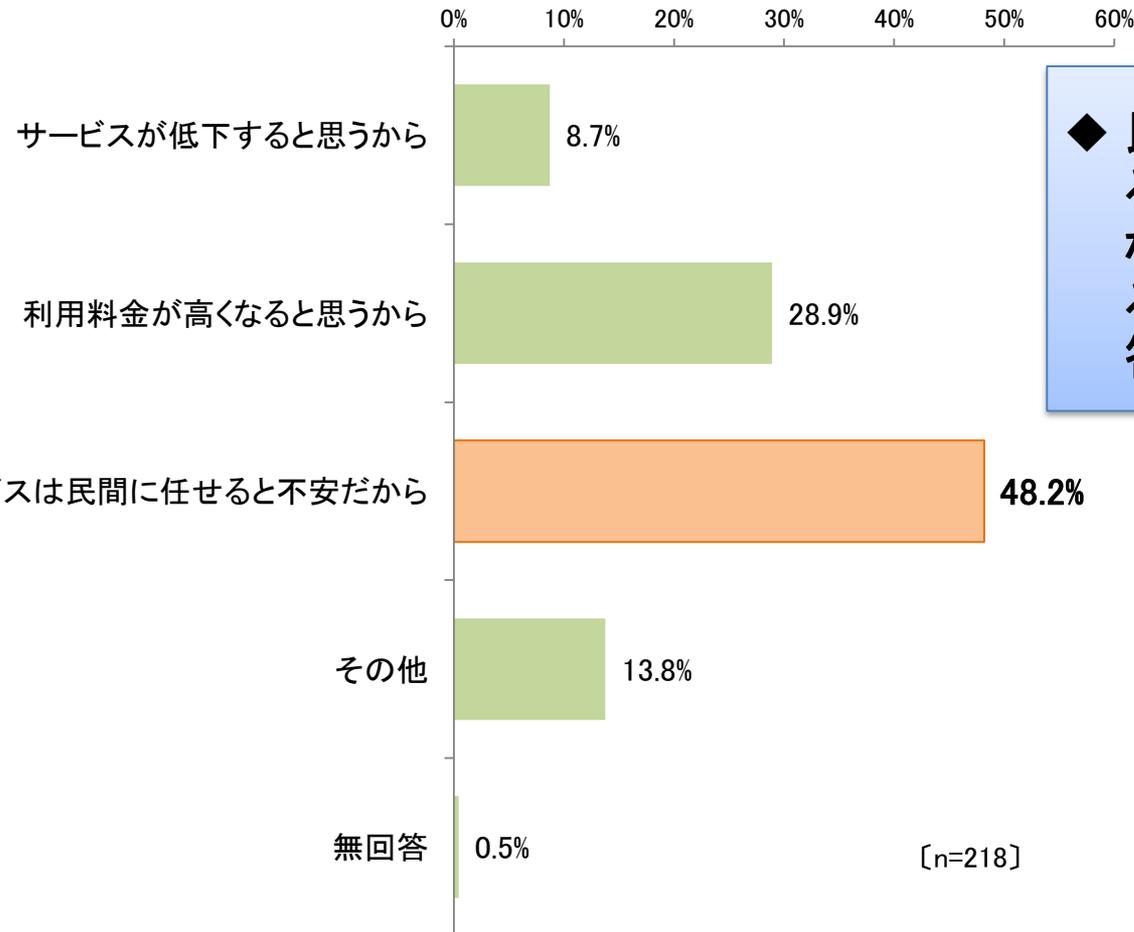
◆ 60%の方が「知っている」または「聞いたことがある」と答えた。

問8 船橋市が、窓口業務や公共施設の管理運営などに民間事業者の力を借りることについて、あなたの考えに最も近いものは、次のうちどれですか。(単一回答)



◆「賛成」または「どちらかといえば賛成」と答えた人が80%を超えた。

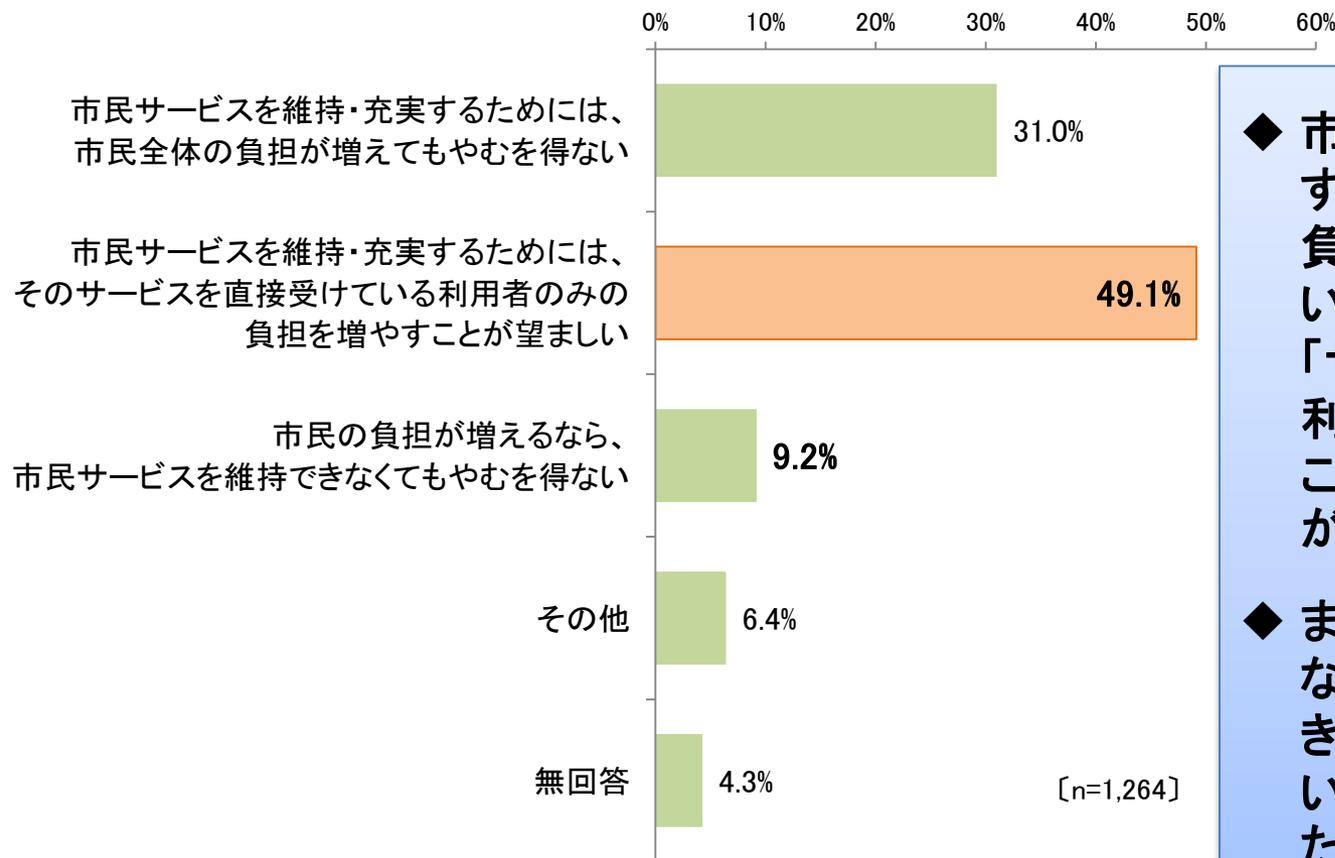
問9 問8で「反対」または「どちらかといえば反対」を選択した理由について、あなたの考えに最も近いものは、次のうちどれですか。(単一回答)



◆ 民間活力の導入に反対する理由については、「公的なサービスは民間に任せると不安だから」という回答が約半数を占めた。

3. 調査結果について —市民サービスの水準と費用負担のあり方—

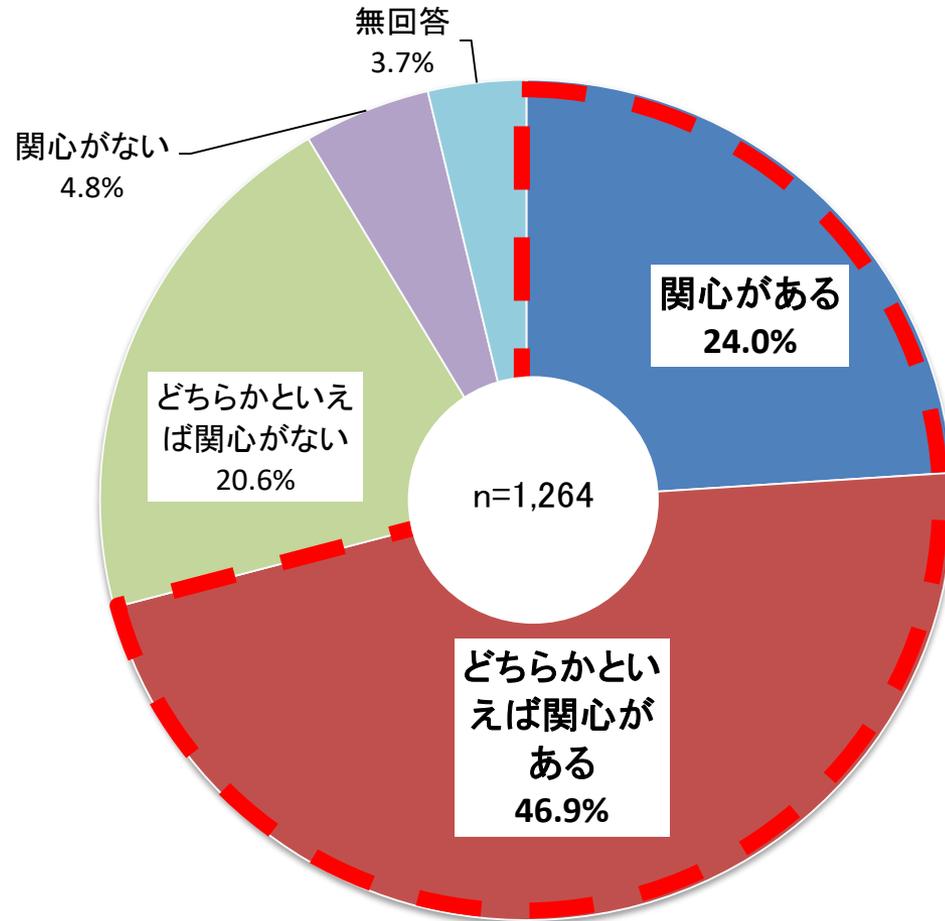
問10 今後の市民サービスの水準と費用負担の関係について、あなたの考えに最も近いものは、次のうちどれですか。(単一回答)



- ◆ 市民サービスを維持・充実するためには、「市民全体の負担が増えてもやむを得ない」という回答が約30%。「サービスを直接受けている利用者だけの負担を増やすことが望ましい」という回答が約50%を占めた。
- ◆ また、「市民の負担が増えるなら、市民サービスを維持できなくてもやむを得ない」という回答は9.2%に留まった。

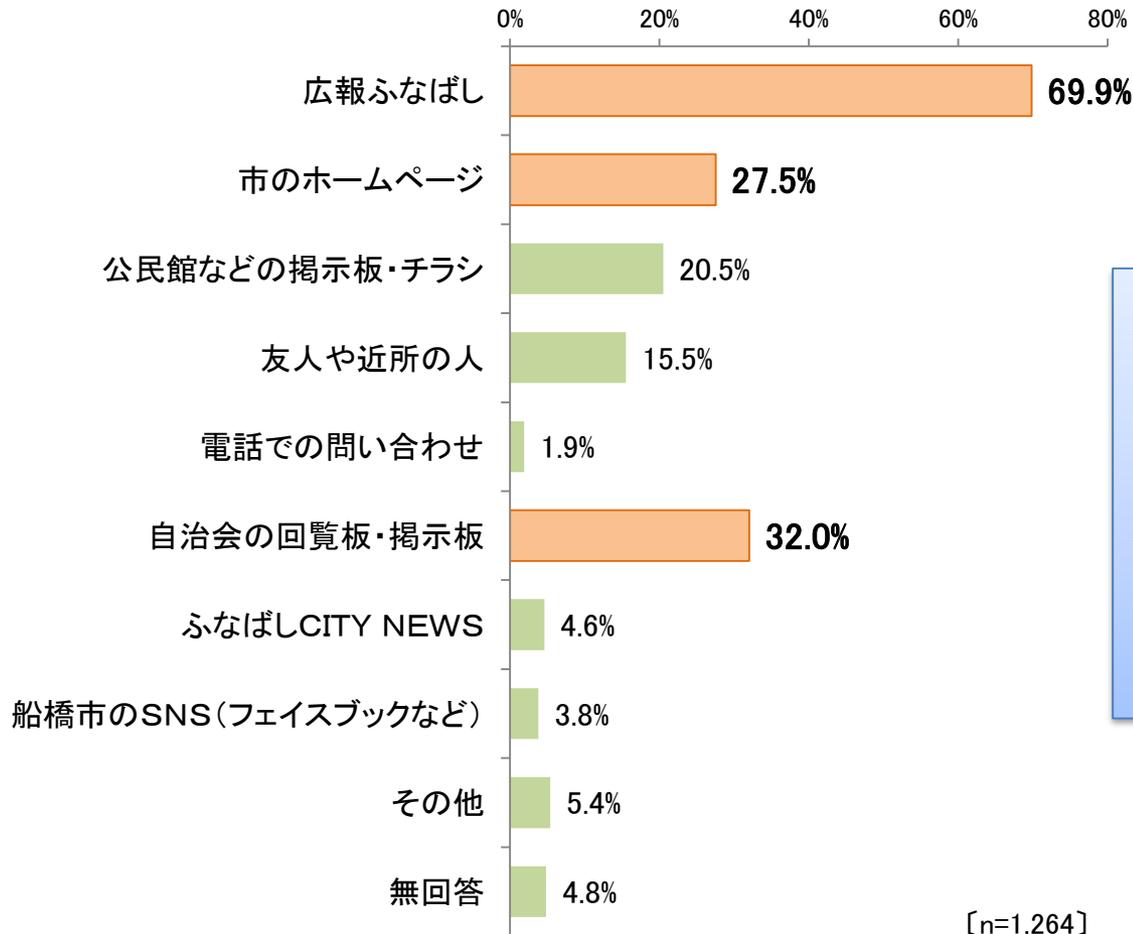
3. 調査結果について — 市政への関心について —

問18 あなたは、船橋市の市政に関心がありますか。(単一回答)



◆ 約70%の方が、「興味がある」または「どちらかといえば関心がある」と答えた。

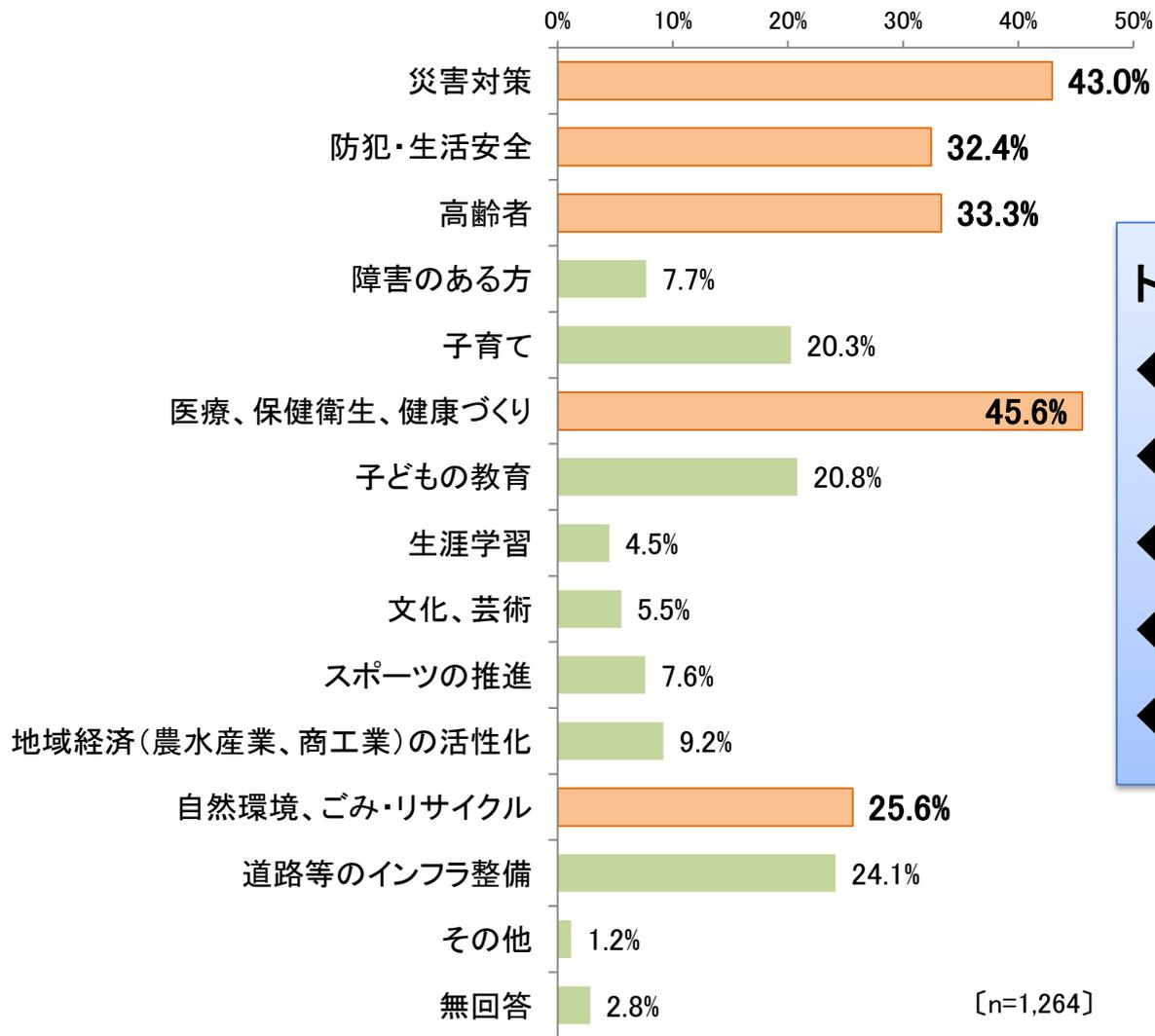
問19 あなたは、船橋市の市政に関する情報をどのように入手していますか。
(複数回答)



- ◆ 約7割の方が「広報ふなばし」により市政に関する情報を入手している。
- ◆ 次いで、「自治会の回覧板・掲示板」、「市のホームページ」が多い。

[n=1,264]

問20 あなたが、関心のある市民サービスの分野は、次のうちどれですか。
(複数回答)



トップ5は…

- ◆ 医療、保健衛生、健康づくり
- ◆ 災害対策
- ◆ 高齢者
- ◆ 防犯・生活安全
- ◆ 自然環境、ごみ・リサイクル

[n=1,264]

5. 今後の予定

—行財政改革推進プランへの道しるべ—

平成31年 1月

クロス集計を用いて
さらに深い分析

年齢別では？
関心度別では？
世帯別では？

平成31年 2月

報告書の作成

平成31年 3月

行財政改革推進プラン
に反映！



5. 今後の予定 — 行財政改革推進プランへの反映イメージ —

アンケート結果

市が見直すべきこと

- ◆「事務の効率化」、「類似事業の集約化」、「事業の整理」が重要である。

公共施設のあり方

- ◆他施設への転用や有効活用が望ましい。
- ◆統廃合等による縮減はやむを得ない。

民間活力の導入

- ◆施設の管理運営などに民間事業者の力を借りることは賛成。
- ◆公的サービスを民間に任せることに対する不安を拭うことが重要。

市民サービスの水準と費用負担のあり方

- ◆サービスを維持するためには利用者の負担を増やすことが望ましい。

+

自由意見



事業の見直し

業務の見直し・効率化

大規模事業の精査

アウトソーシング

受益者負担の適正化

歳入の確保

行財政改革推進プラン